



かがやき

令和6年10月2日
守口市立寺方南小学校
学校だより第6号
校長 棹本 達也

がっこうきょういくもくひょう みずか まな こころゆた
学校教育目標 「自ら学び 心豊かに たくましく」

ひとりひとり かがや がっこう
～ 一人一人が いきいきと輝く学校 ～

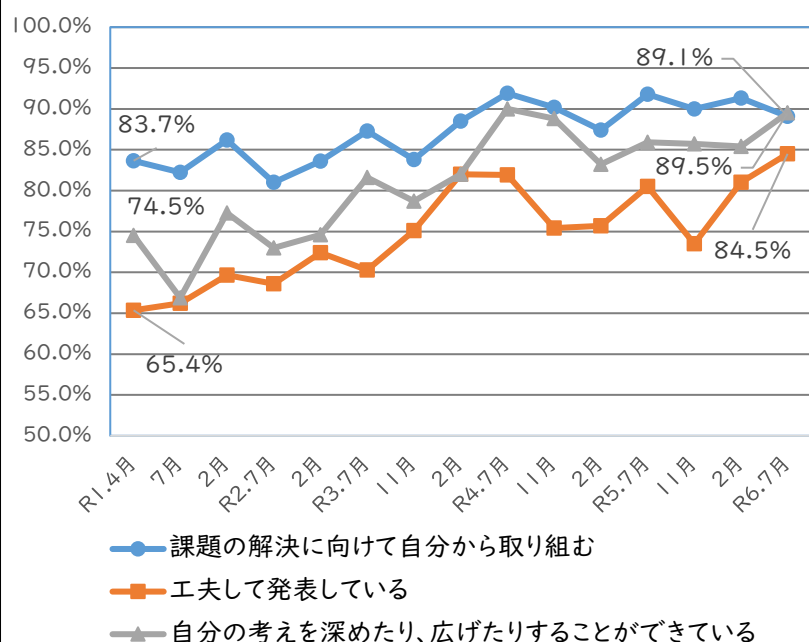
そら たか す わた きせつ
空が高く澄み渡り、さわやかな季節となりました。

こどもたちは、運動会に向けて一生懸命に練習しています。ご家庭でも毎日、できるようになったことを聞いていただき、励ましの声かけをお願いいたします。

さて、4月18日に実施しました全国学力・学習状況調査（6年生）及び大阪府すくすくウォッチ（5・6年生）の結果分析において、子どもたちの学力が着実に定着していることやアンケート調査の結果から本校の子どもたちの良いところがたくさん確認できましたので紹介します。統合後、寺方小学校と南小学校で取り組んできた良い所を1つの取組みにして、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを育成してきた成果の一部が本調査の結果にも表れてきています。結果概要から子どもたちの頑張りなどを見ていただき、家庭・地域での声掛けの参考にしていただくなど、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

☆ その1「学習意欲」が高まってきています ☆

『授業での学習状況に関するアンケート調査』



「授業では、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。」のアンケート項目では、平成31年度4月に肯定的回答をしていた児童が83.7%でしたが令和6年度7月89.1%に向上しています。

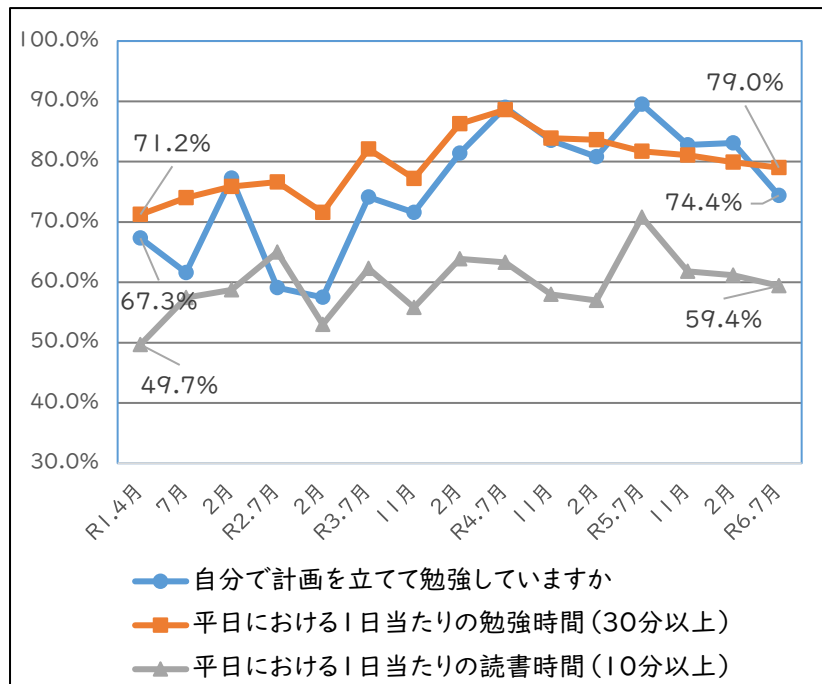
「話の組立てなどを工夫して発表していましたか。」のアンケート項目では、65.4%から84.5%に向上。

「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。」のアンケート項目では、74.5%から89.5%に向上。

守口市では、平成31年度（令和元年度）より年間3回、4～6年生の児童に対してアンケート調査を実施しています。調査項目は全国学力・学習状況調査「アンケート」児童質問紙の中から、授業での学習状況に関する3項目と家庭での学習状況に関する3項目を選んでいきます。（※令和2年度は年間2回実施）

上のグラフと次のページのグラフは、本校の子どもたちのアンケート調査の肯定的回答を折れ線グラフで表したものです。統合後、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを育成してきた成果の一部がアンケート調査の結果にも着実に表れています。

『家庭での学習状況に関するアンケート調査』



「自分で計画を立てて勉強していますか。」のアンケート項目では、平成31年度4月に肯定的回答をしていた児童が67.3%でしたが、令和6年度7月74.4%でした。

「学校の授業以外での平日における勉強時間はどれくらいですか。」のアンケート項目では、30分以上と回答した児童が71.2%に対して79.0%でした。

「学校の授業以外での平日における読書時間はどれくらいですか。」のアンケート項目では、10分以上と回答した児童が49.7%に対して59.4%でした。

▼上のグラフの3項目ともに平成31年度と比較すると高いものの、この一年間で低下傾向が見られます。

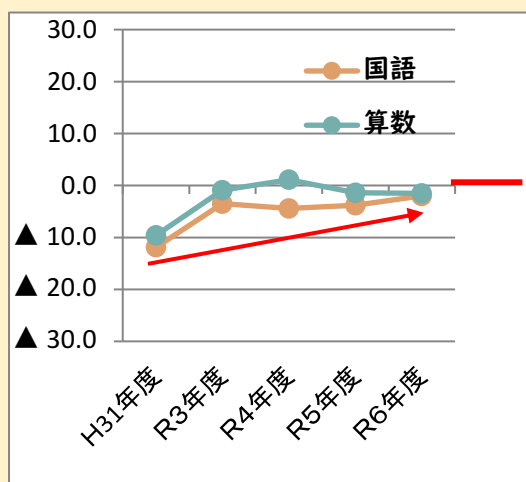
☆ その2 学力が着実に定着してきています ☆

『令和6年度全国学力・学習状況調査（教科に関する結果）』

実施日 令和6年4月18日（木）

平均正答数（問）		本校	大阪府	全国
6年生	国語（14問中）	9.2	9.2	9.5
	算数（16問中）	9.9	10.0	10.1

全国や大阪府の平均との差は0.3問以内です。



このグラフは、全国平均を基準として本校の学力状況を表したものです。

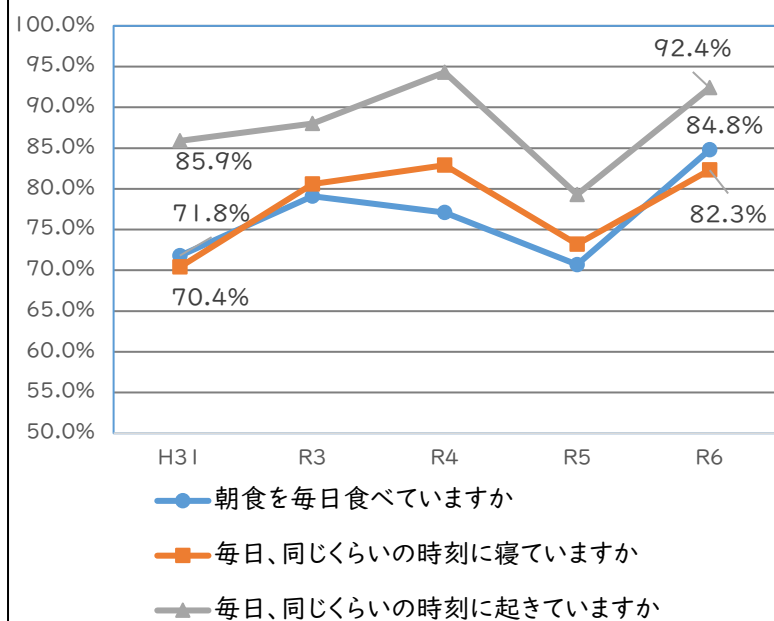
（令和2年度は全国学力・学習状況調査未実施）
統合後、本校の子どもたちの学力は着実に定着しています。

※ 本調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面です。

- 調査の目的
 - ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
 - ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
 - ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 調査の対象
 - ・小学校及び義務教育学校前期課程 第6学年
- 調査の内容
 - ・教科に関する調査（国語、算数）、生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査（児童生徒に対する調査 / 学校に対する調査）

☆ その3「規則正しい生活習慣」が身に付いてきています ☆

『家庭での生活状況に関するアンケート調査』



「朝食を毎日食べていますか。」のアンケート項目では、平成31年度に強い肯定的回答をしていた児童が71.8%でしたが令和6年度 **84.8%に向上**しています。

「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。」のアンケート項目では、肯定的回答が70.4%から **82.3%に向上**。

「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。」のアンケート項目では、肯定的回答が85.9%から **92.4%に向上**。

上のグラフの3項目ともに改善が見られます。特に「朝食」にかかるアンケートでは、初めて80%を超えました。

☆ 強みの見られたところ ☆

令和6年度全国学力・学習状況調査（児童アンケート質問紙 調査結果）6年生

児童アンケートにおいて、肯定的回答の割合が高く、全国を基準として

強みの見られた質問

- 「学校に行くのは楽しいと思う」 (本校 **88.6%**、全国84.8%)
- 「将来の夢や目標を持っていますか」 (本校 **86.1%**、全国82.4%)
- 「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある」 (本校 **93.7%**、全国91.7%)
- 「先生は、あなたの良いところを認めてくれている」 (本校 **91.1%**、全国89.9%)
- 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していない所について、分かるまで教えてくれる」 (本校 **95.0%**、全国87.9%)
- 「各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか」 (本校 **95.0%**、全国87.9%)
- 「国語の勉強は大切だと思う」 (本校 **96.2%**、全国94.5%)
- 「理科の授業は好きですか」 (本校 **88.6%**、全国83.6%)

課題の見られた質問

- 「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらい学習していますか」 【全くしないと回答した割合】 (本校 **26.6%**、全国15.1%)

本校の子どもたちの良いところがたくさん見られますが、**すべての子どもたちのアンケート結果が肯定的な回答となるよう、今後も一人ひとりの良いところを認め励ます指導を大切にしていきたいです。**

☆ その2② 学力が着実に定着してきています ☆

『令和6年度小学生すくすくウォッチ（教科に関する結果）』 実施日 令和6年4月18日（木）

平均正答数（問）		本校	守口市	大阪府
5年生	国語（20問中）	12.3	11.7	12.5
	算数（7問中）	2.5	2.2	2.6
	理科（10問中）	6.5	6.3	6.8
6年生	理科（10問中）	7.0	6.6	7.0
5.6年生	わくわく問題（9問中）	5.6	5.3	5.7

各教科・わくわく問題ともに大阪府の平均との差は0.3問以内です。

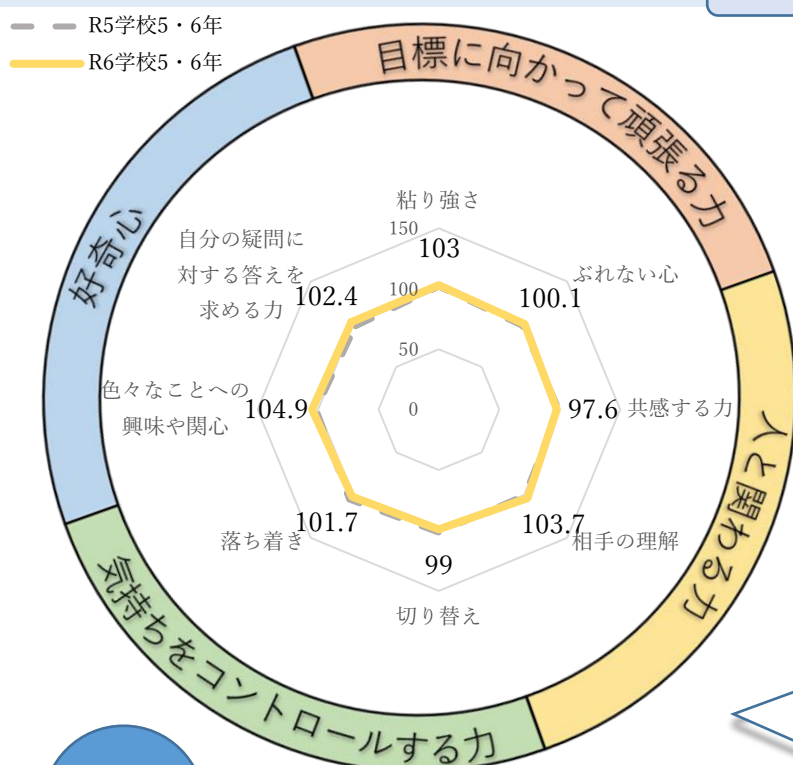
☆ その4「未来に向かう力」と「好奇心」がバランスよく身に付いています ☆

『令和6年度小学生すくすくウォッチ（5.6年生児童アンケートに関する結果）』

「未来に向かう力」と「好奇心」について

子どもの将来には、テスト等で測ることのできる「学力」の他に、非認知能力が大きく関わっています。大阪府では、これからの予測困難な社会を生き抜くために必要な、「①目標に向かって頑張る力」「②気持ちをコントロールする力」「③人と関わる力」の3つを「未来に向かう力」と定義しています。また、新たな知識や経験を探求する原動力となる「好奇心」も大事であると考え、アンケートにより状況を把握しています。本校の子どもたちは、アンケート全体を通して、「未来に向かう力」と「好奇心」がバランスよく育まれていることがわかります。

児童アンケートにおいて、大阪府を基準として



強みの見られた質問

- 「難しいことがあってもあきらめない」
- 「誰もやったことのない物事にとっても興味がある」
- 「その時間に学んだことについて、ふり返りをしている」
- 「文章を読むとき、どこが大事なところか考えながら読んでいる」

課題の見られた質問

- 「自分でやりたい学習内容を考えて、家で勉強している」
- 「自分の考えを積極的に発言している」

3つの「未来に向かう力」と「好奇心」を尋ねる項目の標準化得点※を算出し、掲載しています。（数値は令和6年度の結果を表示）令和5年度とほぼ同じ状況です。

※ 標準化得点：大阪府全体の結果から、平均と標準偏差を用いて変換した得点。大阪府平均を100として表しています。

☆ その5 新たなことに挑戦する意欲が高まっています ☆

『令和6年度小学生すくすくウォッチ（児童アンケートに関する結果）5.6年生』

児童アンケートにおいて、肯定的回答の割合が高い質問

- 「友だちと協力するのは楽しい」
- 「話し合いをするとき、友だちの意見を最後まで聞いている。」
- 「あなたは、困ったときに相談できる友だちがいる」
- 「先生は、あなたの良いところを認めてくれている」
- 「先生は、あなたが間違ったことをしたとき叱ってくれる」
- 「自分は何が得意で何が苦手かわかっている」
- 「黒板に書かれたことをノート等に写している」

授業や行事に友だちと協力して
取組み楽しさを味わうことで、
目標に向かって頑張る力が高ま
り、新たなことに挑戦しようと
いう意欲が高まってきていると
考えられます。

1. 調査の目的 ・子どもたち一人ひとりが自らの強みを知り、学びの基盤となる言語能力や読解力、情報活用能力等を向上させ、これからの社会を生き抜く力を着実につける。
2. 調査の対象 ・小学校及び義務教育学校前期課程 第5.6学年
3. 調査の内容 ・5年生：国語、算数、理科、わくわく問題（教科横断型問題）、アンケート
・6年生：理科、わくわく問題（教科横断型問題）、アンケート
4. 児童への資料提供「ウォッチシート（個人票）」の記載内容
 - ・アンケート結果からわかる児童一人ひとりのよいところ
 - ・各教科とわくわく問題の解答状況から見られる、児童一人ひとりのよいところ
 - ・各教科とわくわく問題のすべての問題について、児童一人ひとりの正答状況とそれに合わせたアドバイス

☆設問例☆ 家族の皆さんで「わくわく問題」にチャレンジしてみてください！！

① ラウラさんたちは自転車のことを調べに博物館にきました。

(1) ラウラさんたちは【自転車の歴史】の資料を読んでいます。

【自転車の歴史】

①

↓

②

↓

③

↓

④

世界で最初の自転車は1817年ごろに登場しました。この自転車は、車体のほとんどが木で作られていて、足でこぐためのペダルはありませんでした。足で地面を蹴って走るので、歩くよりも速く移動することができましたが、靴の底がすぐに壊れてしまいました。

1861年、フランスでかじ屋をしていたミショー親子は、自転車の修理をたのまれました。ふたりは、前輪に短い棒を付けて足で回転させたら、足で地面を蹴って走るよりもっと楽に走れるのではないかと考え試作しました。これが初めてのペダル付き自転車です。

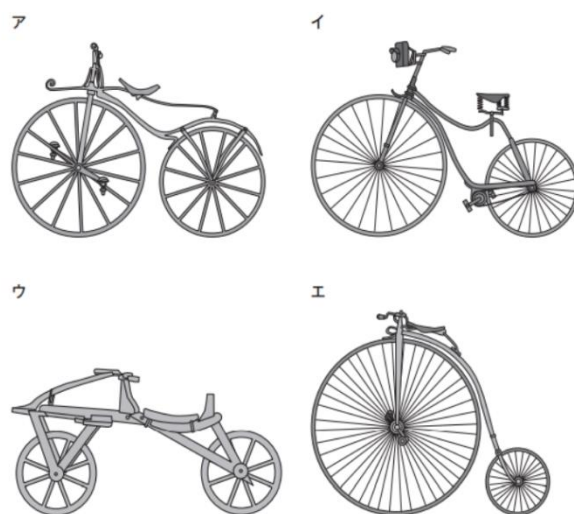
1870年ごろには自転車レースがさかんに行われ、よりスピードを出すために、後輪に比べてかなり大きな前輪がついた自転車が登場しました。この自転車は、スピードは数段速くなりましたが、急に止まることがむずかしく、転ぶと大事故につながる危険な乗り物になってしまいました。

1885年、チェーンと歯車を使って後輪を回転させる自転車が作られました。この自転車は、足が地面にとどく安全な形をしていますが、スピードも速く、現代の自転車の始まりとされています。



サドル ハンドル
チェーン ペダル
〈現代の自転車〉

問い 【自転車の歴史】の①から④までにはまる自転車のイラストを、下のアからエまでの中から1つずつ選びましょう。

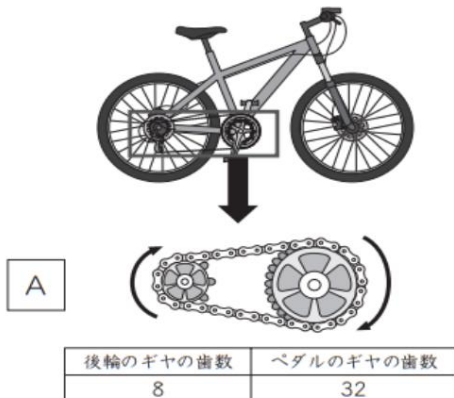


- (2) 次に、ラウラさんたちは現代の自転車の特徴でもある【チェーンとギヤの仕組み】の資料を読んでいます。

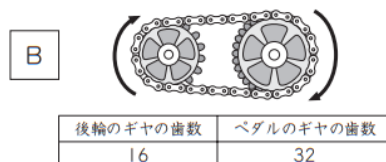
【チェーンとギヤの仕組み】

自転車のペダルの横には大きなギヤ（歯車）が、後輪の中心には小さなギヤが付いています。ギヤの外側にはとがった歯があり、ここにチェーンがかけてられています。ペダルをこぐと大きなギヤが回転してチェーンが動き、後輪の小さなギヤを回転させます。チェーンとギヤを使うと、ペダルをこいだ回数以上に後輪が回転します。

後輪のギヤの歯数を変えることができる「変速機付き自転車」を使って、チェーンとギヤの仕組みをくわしく見ていきましょう。



例えば、**A**のようにペダルのギヤの歯数を32、後輪のギヤの歯数を8とします。ペダルのギヤが1回転すると、後輪のギヤは $32 \div 8 = 4$ で後輪4回転分の距離を進むことができます。



では、後輪のギヤの歯数を変えてみるとどうなるでしょうか。**B**のようにペダルのギヤの歯数は32のまま、後輪のギヤの歯数を16に変えてみます。ペダルのギヤが1回転すると、後輪のギヤは $32 \div 16 = 2$ で後輪2回転分の距離を進むことができます。



わたしは、**A**の方が**B**と比べて、ペダルを1回こぐことで進む距離が長いから、**A**の組み合わせがいいな。

わたしは、「変速機付き自転車」に乗っているけれど、ペダルを1回こぐことで進む距離が長くなる組み合わせほど、ペダルが重く感じるよ。だから、わたしが自転車でも家の前の坂を上るときは、いつもペダルが一番軽く感じる組み合わせにしているよ。



問い 【チェーンとギヤの仕組み】の資料とラウラさんの発言から考えると、ラウラさんが自転車でも家の前の坂を上るときは、ギヤの組み合わせはどれでしょうか。下の**A**から**E**までのの中から1つ選びましょう。

	後輪のギヤの歯数	ペダルのギヤの歯数
A	6	48
イ	24	48
ウ	16	48
E	12	48

- (3) ラウラさんたちは、博物館の見学で、学んだことをクラスで発表するための資料を作っています。発表の一つとして、【自転車に関する困りごと】をもとにして、「できたらいいな！こんな自転車！」を考えて、紹介することになりました。



自転車に乗りたけれど、転んでしまいそうで、乗るのがこわいと思っている人もいるんじゃないかな。

転びそうになるのをセンサーが感知して、自動で元の体勢に戻る自転車があったら、乗るのがこわいと思っている人も安心して乗れると思うな。

【ひかるさんの考えた自転車】

できたらいいな！こんな自転車！

自転車に関する困りごと
自転車に乗りたけれど、転ぶのがこわいので、乗れない
説明
転びそうになるのをセンサーが感知して、自動で元の体勢に戻る自転車

わたしは、社会の授業で勉強したことをもとに考えてみたよ。

捨てられた自転車処分するときに、どうしてもリサイクルできない部品があるそうなので、すべてリサイクルできる材料で作られた自転車ができたらいいな。

すべてリサイクルできれば、環境を守ることにつながるんじゃないかな。



【ラウラさんの考えた自転車】

できたらいいな！こんな自転車！

自転車に関する困りごと
捨てられた自転車処分するときに、リサイクルできずに、ごみになってしまう部品がある
説明
すべてリサイクルできる材料で作られている自転車



【自転車に関する困りごと】って、自転車に乗っているときだけじゃないだね。

他にも【自転車に関する困りごと】はないかな。

問い あなたの考える【自転車に関する困りごと】を解決するために、どんな自転車があったらいいと考えますか。

【自転車に関する困りごと】のらんに、どんな困りごとがあるかを書きましょう。また、【説明】のらんに、その困りごとを解決するためにどんな自転車を考えたか文章で書きましょう。

☆以下は昨年度に作成した「今後の取組み」です。次号で今年度分を掲載します☆

子どもたち一人一人が、確かな学力とこれからの予測困難な社会を生き抜くために必要な力を身に付けていけるよう、今後も教科等の学習と友達関係づくり等を授業の中で一体的に進めていきます。

◎ めざす子ども像の実現に向けて、一貫した指導を進めます。

- ・自他の良いところを見つけ、自分のことも相手のことも大切にするよう指導します。
- ・ちがいを認め合い、相手のことを思いやり行動できるよう指導します。
- ・自学自律できるよう指導します。授業では「めあて」に対する「ふり返り」を書き、学んだことのより一層の定着をめざします。また、学習規律を身に付けます。

○「読む力」の育成

- ・読書活動の充実を図ります。
- ・音読活動をより丁寧に行います。
- ・問題文を読み、問われていることを確認するなど、授業中の読む活動を大切にします。
- ・自主学习（４年生以上）の中で、新聞のまとめ（要約・感想）に取り組みます。

○「書く力」の育成

- ・キーワードを使って書いたり、字数制限を行って書いたりするなど、様々な条件で書く指導を行います。
- ・各学年に応じて、日記・短作文・作文・意見文を書くことに取り組みます。

○「話す力」の育成

- ・発表やスピーチの際には、話の組み立て等を工夫できるよう指導していきます。

○「基礎計算力」の育成

- ・週３回放課後、５分間計算問題「ぐんぐんタイム」に取り組みます。

☆ ご家庭でもご協力をお願いいたします。☆

- ① 学校の行事や学習内容の話など、興味深く聞いてあげてください。
- ② ノートや作品などを見て、良いところを認め励ましてあげてください。
- ③ お子様の音読を聞いたり、時には読み聞かせをしたり、色々な本に触れる機会を作ってください。

児童の皆さんへ

- ☆ 朝ごはんは毎日食べて、一日のエネルギーをとりましょう。
- ☆ 起床時刻や就寝時刻が定まっていない場合は、一日の過ごし方を話し合って決めましょう。
- ☆ スマートフォンやゲームを使用する場合は、家族でルールや時間を話し合って決めましょう。

☆ 地域の皆様にも、引き続きご協力をお願いいたします。☆

地域の皆様には、いつも大変お世話になっております。登下校の見守りの際、「おはようございます」「行ってらっしゃい」「おかえりなさい」と子どもたちに声掛けいただき、ありがとうございます。また、地域行事に参加した際にも、励ましの言葉を掛けていただいていることで、子どもたちは気持ちをコントロールする力が高まり、落ち着いて行動できるようになってきています。引き続きご協力をお願いいたします。